

## 計算式から肥満度を求める方法(幼児)

$$\text{肥満度} (\%) = \frac{\text{実測体重 (kg)} - \underline{\text{身長別標準体重 (kg)}}}{\text{標準体重 (kg)}} \times 100$$

男子  $0.002961 \times (\text{実測身長} \times \text{実測身長}) - 0.2900 \times \text{実測身長} + 14.7527$

女子  $0.002706 \times (\text{実測身長} \times \text{実測身長}) - 0.2326 \times \text{実測身長} + 11.4427$

(例) 3歳 女子 体重 13.0kg 身長 92cm

まず身長別標準体重を求めてみましょう。

$$\text{身長別標準体重} = 0.002706 \times (92 \times 92) - 0.2326 \times 92 + 11.4427 = 12.947$$

そして肥満度の計算式に当てはめてみましょう。

$$\text{肥満度} = (13.0 - 12.947) \div 12.947 \times 100 = 0.40936\%$$

肥満度判定区分により「ふつう(標準)」となります。

肥満度判定区分により「ふつう(標準)」となります。

### 【肥満度の判定区分】

- ・ ふとりすぎ +30%以上
- ・ ややふとりすぎ +20%以上+30%未満
- ・ ふとりぎみ +15%以上+20%未満
- ・ ふつう -15%超+15%未満
- ・ やせ -20%超-15%以下
- ・ やせすぎ -20%以下